

旧赤松家だより

令和2年3月11日



赤松則良の妻、貞。

奥医師 林洞海の二女として生まれ、14歳で則良に嫁ぎ15歳で第1子を出産、子宝に恵まれ17人の子どもを産みました。

明治32年、44歳の頃、則良と共に移り住んだこの磐田の地は、貞にとってどのような場所となったのでしょうか。

記念館には、貞が正装として着た桂うちきが展示してあります。紫の地に白糸で家紋の竜胆車りんどうくるまを織り込んである西陣織の見事な一品です。

是非、ご覧ください。お待ちしております。



内蔵1階ギャラリーでは、11日から國分敏弘さんの刃物で描く切り絵展を開催しています。切り絵は工芸として扱われますが、國分さんは絵画として描いて(切って)、懐かしさを作品に込めて制作をしているそうです。ぜひ、ご覧ください。

内蔵ギャラリーのご案内

『刃物で描く』切り絵展

開催期間：3月11日(水)～3月22日(日)

*休館日 3月16日(月)

開催時間：午前9時～午後4時30分

(最終日は午後3時まで)

入場料：無料

出展者：國分敏弘

問い合わせ：旧赤松家記念館 0538-36-0340



展示作品から